
「葬祭単価の低下が互助会業界に与える影響」の調査研究 報告書

2016年2月8日

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部
消費サービス・ヘルスケアコンサルティング部

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル

目次

1. 本研究の背景と目的	・・・1
2. 葬祭業界をとりまく環境認識	・・・4
2-1. 外部環境の動向	・・・5
2-2. 葬祭市場の現状と葬儀に対する生活者の意識	・・・36
2-3. 環境認識を踏まえた葬祭単価減少要因の考察	・・・66
3. 葬祭単価分析を踏まえた今後の見通し	・・・69
4. 葬祭単価の変化を踏まえて互助会が取り組むべき方向性	・・・125
5. 参考資料	・・・144

本研究の背景と目的

背景

- 葬祭市場は今後20～30年間は需要が増加していくと見込まれることから、葬祭事業は互助会事業の中心的な事業となっている。
- しかしながら、核家族化、死亡者の高齢化、地域コミュニティの崩壊等を背景とし、「家族葬」「直葬」が増加するなど、消費者ニーズは多様化している。
- この結果、施行規模の小型化、簡略化に伴い、葬儀単価の低下が業界全体の問題として認識されており、葬祭事業の発展、互助会収益の維持・拡大のためには、葬祭単価について具体的な対策を講じることが重要な課題となっている。

目的

- 本研究では、上記の背景を踏まえた、葬祭単価の低下をもたらす諸要因とその背景の分析、及びそれを踏まえた葬祭単価の低下が互助会業界に与える影響に係る調査研究を実施した。
- また、本研究の結果は今後、互助会が葬祭単価の改善策、ひいては葬祭事業の活性化に向けた検討の一助となる資料として活用されることを目的としている。

1. 本研究の背景と目的

本資料の全体像

■ 本報告書の構成は以下の通りである。

葬祭業界をとりまく環境認識

- 外部環境の動向
 - I. 人口動態
 - II. 生活者の家計と消費
 - III. 生活者の価値観・行動
- 葬祭市場の現状と葬儀に対する生活者の意識
 - I. 葬祭市場の動向
 - II. 葬儀に対する意識・行動
 - III. 葬祭業界の課題
- 環境認識を踏まえた葬祭単価減少要因の考察

葬祭単価分析を踏まえた今後の見通し

- 葬祭単価関連指標の推移
- 葬祭単価の予測分析
- 葬祭単価の変化が葬祭市場に与える影響の考察

葬祭単価の変化に対応して互助会が注力すべき方向性

- 互助会が今後注力していくべき方向性の検討
 - 互助会業界の葬祭単価減少への対応に向けた方向性
- 他業界の事例研究
 - 過去に単価減少を経験した他業界の事例とそこから互助会が参考にすべきポイント

NRI

未来創発

Dream up the future.